

第9回おのみち100km徒歩の旅
事業報告会アンケート集計《設問10》

設問10

(ご家庭での子どもさんへの接し方で、
変わった点がございましたらお書きください。)

「～できた?」「もう～した?」「はよ～しなさい!」はなるべく言わず、本人の自主性に任せて見ようと思います。

おの100で完歩した事は、本当に尊敬しています。出来るだけ子ども扱いしない様に心掛けていますが、言う事を聞かない時につい上から目線で接してしまいます。

以前に比べ、本人の意思を大事にしてあげようと思っています。

子どもが自ら考えて行動できるよう、見守る余裕を持つように心掛けている。

良い意味で子どもと少し距離を置いて接する事が出来るようになったと思います。

少し対等に話をする時があります。

なるべく自分で出来ることは自分で挑戦させるようにしています。

なるべく声掛けしないようにしてます。

声かけをするのをやめました。

挨拶してくれるまで待つようにしたら、自分からはっきりした語尾で話せるようになってくれた気がする。

身の回りのことを私たち親がするのではなく、自分のことで出来ることはなるべくやらし、出来たことはしっかり褒めてやるようにしています。

子どもの明るく優しいところを班のリーダーさんやスタッフの方から教えて頂き、子どもの良い所を改めて知ることができ、子どもに優しくなれた。(子どもの良い所に気付かず、悪い所ばかり見えていた。)

家の手伝いをよくする。素直な返事をする。

後片付け等、自分のことをなるべく自分でさせるようにしました。

口や手を出し過ぎて(先回りして)子どもの自分でやる力を無くさないように、達成感が味わえるようになるべく過干渉にならないように心掛けています。

もう少し自分のことは自分でやってくれると良いのですが、外ではできているのかどうか。接し方を変えるとするのは難しいです。

あきらめようとしている姿が見えた時、おの100の話をして気持ちを高め、やる気を出させるようにしています。

5日間離れてみて不安だらけでしたが、最後のゴールする姿を見て、親が思うほど子どもは甘ったれではないと実感し、一人の大人としてこれから接していかないと感じました。

子どもの行動で口出しをしない、子どもが自分で考えて行動することに手出しをしないなど接し方を変えています。

少しお兄ちゃん扱いが出来るようになりました。下の子だったので、親の中ではいつまでも赤ちゃんのような扱いでしたが、「出来るんだ」と思えるようになりました。

片付けなどして欲しい事があった時、ほんの少しですが見守る事ができるようになりました。

第9回おのみち100km徒歩の旅
事業報告会アンケート集計《設問10》

<p>設問10 (ご家庭での子どもさんへの接し方で、 変わった点がございましたらお書きください。)</p>
<p>少し「見守る」と言う時間が出来ました。今までは「まだ？」とか急かす事が多かったのですが、本人が何か言って来るまで待つことが多くなりました。宿題も責任を持って最後まで出来たのも今回は本人の頑張りだと思います。</p>
<p>頼りになるなと感じ、今までよりも一人でやらせるようになりました。</p>
<p>干渉し過ぎないように接しています。</p>
<p>家庭では目に見えて変わったという様子は無いのですが、やれば出来る子なのだからと信じ、今までつい手を出していたことも見守っていく様に心掛けるようにしています。</p>
<p>子どもの自主性に任せられる所は任せるようになった。</p>
<p>3人兄弟の末っ子で、いつまでも小さいと思って接してしまっていたのですが、あまり手を出さないように遠くから見守っていこうと思いました。</p>
<p>お互いに出来ることを確認するようになった。</p>
<p>帰ってから少しはお手伝い、親の言う事もよく聞いてくれたのですが、10日経ち、2週間ほどもすれば以前に戻った感じで残念です。</p>
<p>自主的に行動する事にさせていましたが、長く続かず、あれ、これしたか？と聞くようになって来ています。</p>
<p>ある程度、口出しせずに見守る心掛けを頑張ってはいますが…。なかなか難しいですね。</p>
<p>相変わらず兄弟喧嘩もするし、普段は特に変わったようには思いません。親の方も接し方で変わりはないと思います。まだまだ甘えん坊ですね。</p>
<p>手を貸すのではなく、むしろ親の方が「頼りにしてるよ」と色々な仕事を任せている。</p>
<p>「おの100に参加して頑張ったんだから〇〇できる」とよく言う様になりました（母親の方が）。親が決定するのではなく、子ども自身で決めるような言葉掛けを心掛けている。</p>
<p>子どもが自分で行動を起こすまで待つようにしている。</p>
<p>先に口で言うよりもまずやらせてみようと思う様になった。そして見守ってみようと思心掛けている。</p>
<p>少しだけ離れて言い過ぎず行動を見守ろうと思う気持ちが出来たと思います。</p>
<p>より子ども自身の考えに任せるようになった。</p>
<p>すぐ手を貸すのではなくしばらく見守るようになった（父）。小さな成長を認めて待つようになった（母）。</p>
<p>話し方、聞き方を気を付けるようになりました。</p>
<p>特に変化なし。</p>
<p>何事も感謝の気持ちを持つということと、一人ではできない事も仲間がいると達成できる。一人じゃない、友だちは大切と言う事。</p>

第9回おのみち100km徒歩の旅
事業報告会アンケート集計《設問10》

<p>設問10 (ご家庭での子どもさんへの接し方で、 変わった点がございましたらお書きください。)</p>
<p>子どもを信頼できるようになって余りくどくど怒らなくなりました。自分の変化にびっくりしています。</p>
<p>末っ子で甘えてくれるのが当たり前、甘やかすのが当たり前でしたが、息子の成長を少し距離を置いて見守れるようになった気がします。(まだまだですが…。)</p>
<p>特になし。</p>
<p>本人に任せるようになりました。</p>
<p>今まで、手を掛けて見てやらないと出来ないと思い、つつい過干渉になっていましたが、見守り、子どもが困った時に声を掛けられたら子どもと一緒に考え、答えを子ども自身が見つけ出せるような接し方をするようになったし、また、そのように心掛けています。子どもの持てる力を信じてやれるようになりました。</p>
<p>出来るだけ子どもの意思に任せるように努力しています。</p>
<p>下の子なので何もできない子だと思っていたけど、少し信用して物事を頼めるようになりました。</p>
<p>あまり干渉せず、自分で考えさせるように気を付けている。</p>
<p>頭ごなしに悪いことを言うのではなく、理由をまずゆっくり聞いてから丁寧に伝えると分かってくれると思い、意識して話すようになりました。</p>
<p>あまり口出しをせず、見守るように心掛けています。</p>
<p>「早くしなさい」という事が少なくなっていると思います。</p>
<p>嫌なことや、やりたくないことでも、とにかく止まらず前に進むよう、おの100の経験を普段に活かすよう励ましています。</p>
<p>子どもに対して大きな期待をしていた分、あまり成長を感じる事が出来ず、ちょっとがっかりしてしまいましたが、来年の夏にはまた成長しているだろうと気長に待つことにして、見守ろうと思いました。</p>
<p>子どもが受け答えしないといけない場面では、子どもが言うのを待つようになりました。</p>
<p>口うるさく「宿題した？」とか「エレクトーンの練習した？」など、いちいち言うのをやめました。いつも「もう全部終わったわ！！」と言われるのについつい…。それをやめました。</p>
<p>親もやったことが無い事を成し遂げたという思いが親にありますので、自ずと触れ合いの中で尊敬の念が伝わっていると思っています。言葉に出しても伝えてますから、本人も親の思いを分かっていると思いますが…。特に何か接し方を変えた事はありません。</p>
<p>意識して変えてはいませんが、あまり口出ししなくなったかも。</p>
<p>自分の事は自分でというスタイルにするよう心掛けています。</p>
<p>子どもと思って接していたけど、今はもう大人だと思って接しています。</p>
<p>毎年、変わらなければ！！と思いながら、日々のバタバタの中でいつも自分に埋もれていってしまっています。子ども自身も毎年ものすごい成長をしていると感じる中で、「信じて待つ」ということを(思い出す度に)実行しようと思っているのですが。</p>
<p>本人の頑張る力を再確認でき、今までと少し変わったように思う。</p>

第9回おのみち100km徒歩の旅
事業報告会アンケート集計《設問10》

設問10 (ご家庭での子どもさんへの接し方で、 変わった点がございましたらお書きください。)
特に変わった事はありません。
特に変わったことはありません。これからも同じように接して行きます。
少し大人っぽくなったと思うので子ども扱いしない様にしています。下の子なので甘えん坊のところがありますが、少しずつ成長を感じます。
色々な事にチャレンジさせたいと思います。今までより見守る時間を大切に考えるようになりました。(まだまだですが、心掛けています)
途中であきらめないで取り合えずやれるところまでやってみようと声掛けをしています。
安心して子どもの行動を見守れるようになりました。
褒めること。考えさせること。先に手や口を出さないように頑張っています。
なるべく自分で決めて行動させるように話しかける前に私も気を付けています。過保護にならないよう、ひと呼吸して行動するようになりました。
性格が少し大人に近づいたので、他の大人の人たちと同じ様に接しやすくなりました。元々、自分でやれることはやる子でしたが、前と違って頼んで無くてもやってくれることが多くなったと思います。
私も我慢します。そうすると子どもは何かを感じ、子どもも素直に接してきます。
いつもイライラする夏休みが、子どもが変わったことでゆったり過ごせるようになり、子どもに対してもガミガミ怒ることがずいぶん減った。
なかなか長続きはしないのですが、子どもに声を掛ける時、子どもの先々を言わず少し待ち、子どもの姿を見守る事ができるようになった。陰ながら支えられる母になりたいと思っています。
子どもには子どもの考え方、言い分があり、それを聞くことが出来るようになりました(押さえつけるだけではダメ、放っておくこともダメ、中間が良いのですね)。我が子の良い所を伸ばしてやりたいです。
子どもの考えを尊重し、見守る事が出来るようになってきました。
少しだけですが、待つことが出来るようになったと思います。
特にありません。帰って来てから数日は「頑張ったね」と思い褒めていましたが、日常に戻るとまたいつも通りになりました。
自分で出来ることはできるだけさせるようになった。宿題、忘れ物とか心配し過ぎでしたが自主性に任せることにしました。
頼れる子どもになったので、安心感が出てきた。